

優秀賞

タイトル

白い壁と黒い積層棚のある家

タイプ

持家共同建

構造

鉄筋コンクリート造

講評

L字型の家具で、水回りを巧みに仕切り、広く明るく使いやすくなっているのがポイント。若い設計者夫婦の自邸のため、納め方などや実験性が強いが、限られた予算の中で小気味良くデザインをまとめている。

リフォーム前後の写真

コンセプト

日常生活のモノの在り方から、住まいを考えた。
結果、何もない『白い壁』と、モノが集約されたL型の『黒い積層棚』が、対立するように現れた。



設備配管

最新の給水配管計画をするためには、共用部PSと専有部間の躯体に穿孔する必要があった。当初は許可されなかったが、理事会と何度も話し合い、マンションの将来に渡る改修計画には不可欠な判断であることが認められた。

設備配管は既存レベルコンクリートに溝掘りをし、溝をガイドに給水チューブを配管し、必要最低限の寸法でフローリング施工を行うことができた。



STUDY

CGにより、より詳細な空間構成・素材・照明の検討を行い、施工者とのイメージの統一も図った。



白い壁

天井・床・壁に桐の幅広フローリング材を長手方向に貼ることで、長い壁の姿が強調された。
また壁際の間接照明は、白い壁をより象徴的に浮き立たせている。



積層棚

空間の中央部に配置した『積層棚』は、棚板を合板の素地、他の面を黒く塗装した。棚板の先端ラインを薄く水平に通すこと、空間に繊細さを与えている。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【リフォームの動機】

築約25年のマンション3階部分の1住戸の部分改修である。施主は共働き夫婦。元の家族向きの間取りを2人のライフスタイルにフィットさせることが求められた。
また、レベルコン内に埋めこころしてある、設備配管を更新する修繕の手法のスタディとして、マンション全体がこれから直面する漏水問題への対応策を示すモデルとなることが求められた。

【設計の工夫】

間仕切りを取り払い、一度シンプルなワンルームにした上で水廻りとLD、及び収納の新しい関係を考えた。
キッチンとLDの間にL型の『積層棚』を配置した。『積層棚』は370ピッチで積層された合板で構成され、収納であり、水廻りであり、緩やかな間仕切りとなることで、機能的な空間要素はすべて『積層棚』にまとめられる。素材と塗装により空間を白黒の構成することで、空間の骨格と『積層棚』とがつくる風景をより強調した。

性能向上の特性

防音遮音性能 耐久性能
室内空気環境

データ

所在地 東京都新宿区

該当工事面積 55 m² / 総工事床面積 55 m²

居住者構成 15歳以上65歳未満: 2人 / 65歳以上:

設計会社

施工会社 澄美装

特に配慮した住宅性能

給水をさや管ヘッダー方式によるグレードアップ
24時間換気システムの採用と、給気経路の改善

リフォーム前



リフォーム後



バルコニーは室内床とレベルを揃えてデッキを施工した。

脱衣室の目隠しとなる特殊な建具を設置した。



凡例
■ …排水用PS(専有内に設けられている)
□ …今回非着手部分

リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部